

コンチェルト

Concerto

The 5th simc
Volunteer News

Vol.5-9 (2014.1.22発行 第5回コンクール関連 第9号)

インタビュー リチャード・リンさん

(第5回仙台国際音楽コンクール・ヴァイオリン部門優勝)

第5回仙台国際音楽コンクールで優勝されたリチャード・リンさん（アメリカ/台湾）が昨年末、来日されました。12月6日に日立システムズホール仙台（仙台市青年文化センター）で行われた優勝者記念リサイタルの翌日、コンクール後のことやリサイタルについて、英語でインタビューさせていただきました。



来日直前の台湾でのコンサートではチャイコフスキーのコンチェルトを1日に2回演奏されたと聞いて驚きました。

自分自身でも1日に2回、同じコンチェルトを演奏するというのは初めての経験で、本当に大変でした。この2つのコンサートは、2つの会社がそれぞれの顧客を対象にして開催したもので、両公演とも会場は満席となりました。皆さんとても情熱的な反応で、演奏を楽しんでいただけたと思います。

仙台国際音楽コンクールの優勝から約半年が過ぎました。仙台のコンクールはリンさんご自身や演奏活動にどのような変化を与えましたか。

コンクールを通して多くの人達に私自身のことを知ってもらい、また、自分の演奏スタイル、自分の解釈も聴いていただくことができました。そして、コンサートやリサイタルなど、いろいろな演奏機会も増え、多くの人達にリチャード・リンという名前を知っていただける良いチャンスとなりました。コンクールによって、自分の人生、自分の音楽というものが成長できたように思います。

ジュリアード音楽院に移られて、3ヶ月かと思います。学習や生活はどう変化しましたか。

カーティス音楽院を卒業してから、新しい先生に就くことになりました。今度のルイス・カプラン先生の指導法は、カーティス音楽院時代の恩師アロン・ロザンド先生とはかなり違います。ロザンド先生と一緒にヴァイオリンを弾き、ともに音楽を作ることを通して、彼の様式、いわゆるスライドや指使いやボウイングなどの技術を学んでいくものでした。対照的に、カプラン先生はレッスンではほとんど演奏しません。作品や作曲家に関しての話をしたり、いろいろな比喩を使って、その作品の説明をすることによって、私にヒントを与えてくれたり、励ましたりしてくれます。

カーティス音楽院では全員で160人強、大きなファミリーのようなもので、毎日同じ人達と顔を合わせていました。それと比べると、ジュリアード音楽院では在籍する学生の数も多く、毎日新しい人と出会うのです。より多くの音楽家と接することができ、また自分をより多くの人達に知ってもらえる場でもあります。まだまだ新しい生活に慣れている最中です。

ジュリアード音楽院からは仙台のコンクールに多くの学生の方が出場してくれています。ジュリアードに移られてから、仙台のコンクールのことが話題になったことがありますか。

はい！特に韓国の方がこの仙台のコンクールのことを良く知っていて、入学した時からすぐ「あの仙台のコンクールで優勝したリチャード・リン」と言われました。

では昨晩のリサイタルについてお伺いします。今回、全てのプログラムをご自身で選ばれたそうですね。選曲した理由やその曲に寄せる想いをお聞かせください。

(注：プログラム内容 ベートーヴェン ヴァイオリンソナタ第1番/グリーグ ヴァイオリンソナタ第3番/

サラサーテ スペイン舞曲集と「ツィゴイネルワイゼン」/アンコール 「花は咲く」、「出外人」(蕭泰然)、「浜辺の歌」)

まず、プログラムそのものですが、全部自分で考えたのは今回が最初です。ロザンド先生の考えに基づいて最初に聴きやすい曲から入って行って、そこからテンションを上げて後半ではエキサイティングで派手な曲を持ってくるように構成しました。それで、ベートーヴェンのソナタをプログラムの最初にしてみました。この第1番は大好きなのですが、大勢の聴衆の前で弾くのは今回が初めてでした。特に好きなのは第2楽章です。これはベートーヴェンが書いた10曲のソナタのうちで、もっとも綺麗な楽章ではないでしょうか。今まで、3番、5番、7番は演奏会で弾いたことがあったのですが、今回はこの1番を是非弾きたいという強い気持ちがあったのです。

グリーグですが、この曲を初めて耳にしたのはハイフェッツの録音でした。そのスタイル、スライドや音色がすごく好きだったので、決して物まねをするというのではなく、その素晴らしいところを取り入れたいと思いました。

(次ページへ続く→)

後半の舞曲ですが、ロザンド先生のレコーディングがありまして、それがとても素敵なのです。の中で、最も自分が気に入ったものを何曲か選ばせてもらいました。アンコールは、日本の曲も入れたいと思い、コンクール事務局のスタッフに相談しました。「花は咲く」を提案してもらい、YouTubeを通して、いろいろな録音を聴きました。多くの有名人が歌っていますし、そのストーリーもとても感動的だったので、アンコールの最初の曲によいのではないかと思います。

2番目の台湾の曲は自分で選びました。この曲を作った蕭泰然という作曲家はヴァイオリンとピアノのための音楽を沢山作り、楽譜も出版されています。台湾では非常に人気があり、小品で技術的にもそれほど難しくないで、多くの方がコンサートで演奏しています。彼は台湾で非常に尊敬されていて、今はロサンゼルスに住んでいます。また、ヴァイオリンやピアノのためのコンチェルトを台湾で最初に書いた人であり、今では台湾以外の国でも演奏されています。今回のリサイタルを機会に、私の故郷の音楽を少しでも日本の皆様にも知ってもらえればと思います。彼は地元では「台湾のラフマニノフ」と呼ばれています。彼のピアノコンチェルトを聴けば、きっとラフマニノフを連想しますよ（笑）。その中に少し台湾スタイルが入っているのです。

昨晩のリサイタルは私も客席で感激して聴きました。演奏されての感想はいかがでしたか。

コンクール以後、仙台では演奏していなかったの、昨日は私にとって特別なリサイタルでした。この仙台という街そのものも自分が訪れたことのある街の中で最も素敵な街だと思います。人々や食べ物や雰囲気も……。昨夜もリサイタルの準備は万全でしたし、聴衆の皆様との反応もとても温かかったと思います。誰一人として楽章の間で拍手する人がいなかったの、感激しました。本当に楽しかったです。

仙台の聴衆の反応をどう感じられましたか。

素晴らしいと思いました。とにかく情熱を感じましたし、サイン会の時も皆様の温かい気持ちをしっかりと感じる事ができました。音楽を通して、また皆様との演奏後の対話によって、とても良いコミュニケーションが取れたと感じています。

今回の来日期間は短かったですが、どんな楽しみがありましたか。

初日から皆様が自分と弟（共演のために同行したロバート・リンさん）の滞在をケアしてくれて、本当に助かりました。コンクールの時に遊びに行っていたいろいろな所に、弟を連れていきました。もちろん自分が一番好きだった牛タン店にも！ゲームセンターにも行って、UFOキャッチャーでお土産をしっかりとゲットしました（笑）。短かったのですが、本当にいい滞在になったと思います。

弟さんとの共演は息がぴったりだったと会場では好評でした。

小さい頃から一緒に練習してきました。弟は6歳の時にピアノを始めたのですが、父が二人を一緒に見守れるように、異なる曲でも同じ部屋で練習していました。一つの曲を二人で演奏するようになったのは私が11歳の頃からです。これは台湾でのコンクールに出場するため、その時に弟が伴奏してくれたのです。共演を始めてから、もう10年以上になりますね。

コンクールの時や今回のリサイタルで、仙台の多くの女性が貴方の演奏する姿やヴァイオリンの音色にしばれたと話しています。

彼女たちが貴方の好きな女性のタイプを知りたいがっています。

特定のタイプというのはないのですが（笑）、女性と知り合ってから、その人のことをよく知らないとなかなか好きになれないのです。どちらかというと同じ興味を持っている人の方がいいですね。共通の話題があった方が楽しいと思います。特定のルックスとか教育の有無のこだわりは何もありません。日本の女性は、皆さんとても綺麗ですし、非常に礼儀正しく、エレガントなところが素敵だと思います。

今後演奏活動と並行して、コンクールへの挑戦を続けていきたいとお聞きしました。コンクールを受け続ける目的とこれからの目標をお聞かせください。

コンクールに挑戦するということは、新しいレパートリーを身につける良い機会でもあります。新しい音楽を自分でとことん探求することができますし、音楽のいろいろな側面を発見することができます。また、コンクールというのは非常に厳しい環境でもあるので、プレッシャーのかかる状況の中で自分を鍛えることもできます。コンクールを通じて、世界のより多くの人達に自分のことを知ってもらいたいですね。



最後に仙台のファンへのメッセージをお願いします。

仙台の皆様にはコンクールの間、そしてその後も応援していただきとても感謝しております。今回は、この仙台のホールで演奏することを本当に楽しませていただきました。また、2014年6月には東京でも優勝記念リサイタルが開催されます。それに合わせて、仙台でCDの制作が企画されており、東京のリサイタルでも演奏するブラームスのソナタとスケルツォを収録する予定です。コンクールでは、ファイナルでブラームスのヴァイオリン協奏曲を演奏しました。それがきっかけで、もっとブラームスを掘り下げて取り組みたいという気持ちが強くなりました。今度のレコーディングでも、ピアノを担当するのは弟のロバートです。このCDで皆様に私の音楽を聴いて楽しんで頂ければ嬉しいです。そして、また仙台に戻って来れることを心から楽しみにしています。

この日のうちに台湾に旅立つという慌ただしい中、ていねいに質問に答えていただいたリチャード・リンさん、本当にありがとうございました。



第5回仙台国際音楽コンクールの出場者たち

仙台でのコンクール以後もそれぞれの場でますます研鑽を積み、頼もしい活躍と結果が伝えられてきます。Webサイト、音楽誌などからその活躍ぶりや今後の演奏スケジュールを集めてみました。

<ヴァイオリン部門>

■上敷領 藍子 KAMISHIKIRYO Aiko

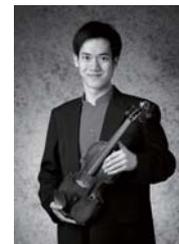
☆ニケリーノ（イタリア）国際コンクール（トリオで参加）2位受賞（2013/12）



上敷領 藍子



キム・ボムソリ



リチャード・リン

■キム・ボムソリ KIM Bomsoori

☆ミュンヘン国際音楽コンクール最高位（1位なしの2位）受賞（2013/9）

■リチャード・リン Richard LIN

2014/6/17(火) ヴァイオリンリサイタル（電気文化会館 名古屋市）

2014/6/19(木) 優勝記念リサイタル東京公演（浜離宮朝日ホール）

2014/11/8(土) 東京交響楽団 第625回定期演奏会（サントリーホール）

2014/11/9(日) 東京交響楽団 第86回新潟定期演奏会（りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館）



中村 太地

■中村 太地 NAKAMURA Daichi

☆ヴァスコ・アバディエフ（ブルガリア）国際コンクール最高位（1位なしの2位）受賞（2013/11）

2014/6/22(日) 春日交響楽団 第20回定期演奏会（春日市ふれあい文化センター）

■成田 達輝 NARITA Tatsuki

☆第15回ホテルオークラ音楽賞受賞（2013/12）

2014/2/12(水) 関西フィルハーモニー管弦楽団 第253回定期演奏会（ザ・シンフォニーホール 大阪市）

2014/2/14(金) 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 第277回定期演奏会（東京オペラシティ）

2014/2/26(水) ホテルオークラ音楽賞記念演奏会（ホテルオークラ東京）

2014/3/30(日) 千葉県少年少女オーケストラ 第18回定期演奏会（千葉県文化会館）

2014/4/27(日) ヴァイオリンフェスタ2014（サントリーホール）

2014/5/9(金) 日本フィルハーモニー交響楽団 第83回さいたま定期演奏会（大宮ソニックシティ）



成田 達輝

■篠原 悠那 SHINOHARA Yuna

☆東京音楽コンクール2位受賞（2013/8）

■牛草 春 USHIGUSA Haru

2014/3/15(土) Dulcinea Quartet 来日コンサートwith米津真浩
（仙台ピアノ工房 022-344-3277）



篠原 悠那



牛草 春

<ピアノ部門>

■後藤 絵里 GOTO Eri

☆チェコの第46回国際音楽コンクール指導者賞受賞（2年連続）（2013/11）

※このコンクールの本選でお弟子さんが2位受賞

■浜野 与志男 HAMANO Yoshio

2014/3/15(土) 日本フィルハーモニー交響楽団 第658回定期演奏会（サントリーホール）

2014/3/16(日) シークレットコンサート（ムジカーザ 東京都渋谷区）

2014/3/22(土) NPO法人<音楽ネット青森>第79回コンサート（青森市民ホール）

2014/3/23(日) 浜野与志男&ユリア・チャプリナ ピアノジョイントリサイタル
（カワイミュージックショップ仙台 022-261-2851）

2014/4/26(土) ピアノリサイタル<<ベル・エポックと銀の時代=100年を越えて甦る音>>
（パルテノン多摩ホール）



後藤 絵里



浜野 与志男

■仁田原 祐 NITAHARA Yu

☆2013三菱地所賞受賞(2013/10)

2014/2/3(月) 新井貴盛&仁田原祐デュオリサイタル（HITOMIホール 名古屋市）

2014/2/12(水) 新井貴盛&仁田原祐デュオリサイタル（ムジカーザ 東京都渋谷区）

2014/3/1(土) アプリコお昼のピアノコンサート（大田区民大ホール）



仁田原 祐



ソヌ・イエゴン

■ソヌ・イエゴン SUNWOO Yekwon

2014/6/13(土)、14(日) 仙台フィルハーモニー管弦楽団 第283回定期演奏会
（日立システムズホール仙台）

2014/6/20(金) 優勝記念リサイタル東京公演（浜離宮朝日ホール）

「街かどコンサート」が開催されます

「街かどコンサート」は仙台国際音楽コンクールの関連事業として、広く市民の皆様様にクラシック音楽を楽しんでいただくことを目的としたコンサートシリーズです。今回は仙台市内10ヶ所の市民センター・児童館で開催いたします。どこかで聴いたことがある定番の名曲を中心としたコンサートです。また今回は初の試みとして、仙台で音楽を学んでいる学生団体が企画段階から参画し、各地域のニーズに合わせた公演を開催します。お近くの会場にどうぞお出かけください！

仙台国際音楽コンクール関連事業 「街かどコンサート」 市民センター・児童館編

■入場方法：入場無料（申込不要、直接会場へお越しください。年齢制限はありません）

日/開演	3/6(木)15:30	3/7(金)18:30	3/8(土)14:00	3/8(土)14:30	3/12(水)14:30	3/12(水)15:30	3/13(木)14:30	3/14(金)18:30	3/15(土)14:30	3/16(日)14:30
会場	上野山児童館 遊戯室	秋保市民センター 研修室	古城児童館 遊戯室	加茂児童センター 遊戯室	虹の丘児童センター 遊戯室	館児童センター 遊戯室	宮城野区中央市民センター 第3会議室	木町通市民センター 6F多目的ホール	台原児童館 遊戯室	生出市民センター 第1・2講義室
定員	100名	50名	100名	100名	100名	150名	80名	200名	100名	70名
演奏団体	たて笛のつどい	Duo Elf	たて笛のつどい	O ² N	O ² N	Duo Elf	QSP	Punctum	QSP	Punctum
演奏曲目	モーツァルト： アイネ・クラ イネ・ナハ ト・ムジーク第1 楽章 オッフェンバ ック：天国と 地獄よりカン カン 他	ヘンデル： オンブラ・マ イ・フ モンテシ： チャルダシュ 他	モーツァルト： アイネ・クラ イネ・ナハ ト・ムジーク第1 楽章 オッフェンバ ック：天国と 地獄よりカン カン 他	シューベルト： 軍隊行進曲 チャイコフス キー：「くる み割り人形」 より 他	シューベルト： 軍隊行進曲 チャイコフス キー：「くる み割り人形」 より 他	ブラームス： ハンガリー舞 曲第5番 久石譲： 「ハウルの動 く城」より "世界の約束" 他	バッハ： G線上のアリア ハロルド・ア ーレン： 虹の彼方に 他	ショパン： 12の練習 曲作品10 「革命」 エルガー： 愛の挨拶 (ヴァイオリ ン) 他	ヴィヴァルデ イ：「四季」 より「春」 第1楽章 久石譲： となりのトトロ 他	ショパン： 12の練習 曲作品10 「革命」 エルガー： 愛の挨拶 (ヴァイオリ ン) 他

【グループの説明】 たて笛のつどい：5種類のリコーダーアンサンブル
Duo Elf (デュオ・エルフ)：アルトサクソフとピアノのデュオ
O²N (オン)：ピアノ連弾
QSP (キューエスビー)：弦楽四重奏
Punctum (パンクトゥム)：アルトサクソフ、ヴァイオリン、ピアノのアンサンブル

第5回仙台国際音楽コンクール優勝記念公式CD 発売中！

2013年の5～6月に開催された第5回仙台国際音楽コンクールのヴァイオリン部門で優勝したリチャード・リンさん（アメリカ/台湾）の真摯なヴァイオリン、ピアノ部門で優勝したソヌ・イエゴンさん（韓国）の躍動するピアノ、若き二人のコンクール本番での臨場感ある感動のライブを収録したCDが好評発売中です。ホストオーケストラの仙台フィルハーモニー管弦楽団と常任指揮者のパスカル・ヴェロさんの共演によるコンチェルト（協奏曲）の醍醐味をお楽しみください。

- リチャード・リン（ヴァイオリン）（FOCD9612）
＜収録曲＞
ベートーヴェン：ロマンス ト長調 op.40
バルトーク：ヴァイオリン協奏曲 第1番 Sz36
ブラームス：ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.77

- ソヌ・イエゴン（ピアノ）（FOCD9613）
＜収録曲＞
モーツァルト：ピアノ協奏曲 八長調 K467
ラフマニノフ：ピアノ協奏曲 第3番 二短調 op.30



価格：各1枚 2,400円＋税 / 販売：新星堂カルチェ5 仙台店他、全国CDショップ
問合せ：仙台市民文化事業団コンクール推進課 TEL 022-727-1872

♪ 編集後記 ♪

気がつくと『花は咲く』を口ずさんでいる。岩井俊二作詞・菅野よう子作曲の東日本大震災復興支援ソングである。やさしくそっと包んでくれる気がして心に残る曲である。TVからはいるんな分野のスターたちが、いえ、今では世界のアーティスト達が歌ってくれているのを見聴きする。そしてつい最近、優勝者リサイタルのリチャード・リンさんがアンコールに選んでくれたことも忘れられない。一刻も速やかな復興を！（三）

正月からConcerto編集で寝正月にはならず、働く一年になりそうです。（川）

今回、インタビューでリチャード・リンさんの真摯で温かい人柄に触れて、ますますファンになりました。6月の東京公演にも行ってしまいそうです。（岡）

来年は、いよいよ仙台市地下鉄東西線の開業とか、随分先のことかと思っておりますが、早いものです。益々、仙台は、都市化に拍車がかかるでしょう。（清）

2014年が始動。仙台の音楽文化をもっともっと感じて、より多くの人とその感動を分かち合うことができたなら最高に幸せです。（kuri）

コンクール出場者その後の活躍と進化には目を見張るものがあり、上り坂の彼等の若さ＋経験が血となり肉となり奏でる音のエキスとなっていくと感じるこのごろ。下り坂の私にとって彼等の奏でる音のパワーがなよりの精神のサプリメントとなっている。（吾）

素晴らしい演奏を聴かせてくれた第5回優勝者の二人。仙台から世界に羽ばたく二人の応援も引き続きよろしく願いいたします。（事務局/松）

事務局は早速次回コンクールの準備へ。今年もどうぞよろしく願いいたします。（事務局/戸）

発行：第5回仙台国際音楽コンクール 広報宣伝サポートボランティア

問合せ：仙台市民文化事業団コンクール推進課（仙台国際音楽コンクール事務局） Tel: 022-727-1872 / e-mail: info@simc.jp / URL: http://www.simc.jp/